

12月定例議会の高橋みえ子議員の一般質問より

横田基地へのミサイル配備計画は撤回を

高橋 日経新聞が、「在日米軍が地对空誘導弾パトリオット3ミサイル(PAC3)を首都圏の米軍基地に配備する検討を始めたことが分かった。日本政府への非公式な連絡によると横田基地(東京都)や横須賀基地(神奈川県)が候補地。」と報じました。横田基地はこれまで、司令基地、空軍基地としての役割でしたが、ミサイル攻撃基地になれば、人口密集地帯にある横田基地が標的にされるかも知れません。横田基地をいっそう危険な基地にしてはなりません。

日米政府に対して計画の撤回を求めるべきではないでしょうか。

市長 「政府としては承知していない。」との回答がありました。

C130輸送機の劣化ウラン使用について 真相を調査し、情報公開を

高橋 米軍機の部品に劣化ウランなど放射性物質が使用されていることが、11月8日、沖縄タイムスで報じられました。

2004年に沖縄国際大学に墜落したCH53大型輸送ヘリコプターには、放射性物質ストロンチウム90が使用されていました。米軍機が墜落した時、消火活動にあたった宜野湾市消防はそれを知らず機体に接触し、通常の耐火服で作業していました。墜落機にストロンチウム90が使用されていたのが明らかになったのは事故から3週間後でした。

その他の米軍機、例えば横田基地に常駐するC130輸送機、横田基地に飛来するC141大型輸送機、C5大型輸送機、KC10空中給油機にも、劣化ウランが使用されていると、沖縄タイムスは報じています。



沖縄タイムス社が米国の情報公開法を通じて入手した資料で、今年退役したC141大型輸送機に339キログラムの劣化ウランが装備されていたことが、分かりました。

墜落事故などによる炎上で一般県民が吸い込む場合の「年摂取限度」に換算すると、約3000万人分に相当するそうです。



私たちの頭上を、放射性物質を使用した米軍機が飛行するなどとは許されないことです。真相を調査し、情報公開すべきではないでしょうか。
市長 東京防衛施設局に横田基地周辺市町基地対策連絡会で事実確認を行ったが、「詳細を承知していない。」との回答だったので、再度、要請します。

米軍横田基地の早期返還を

高橋 国際的な紛争は武力で解決するのではなく平和的な解決を、というのが世界の流れです。基地強化に反対し、早期返還をめざすべきではないでしょうか。
市長 整理・縮小・返還を求めています。

なんと！政府が「米軍の航空機の部品の逐一については承知していない」と回答

1月15日付けで、羽村市議会議員宛に、羽村市企画部長から下記のFAXが届きました。

米軍航空機の放射性物質使用に関する質問に対する外務省回答について

「横田基地周辺市町基地対策連絡会」により、平成18年12月20日付けで行った外務大臣宛米軍航空機の放射性物質使用についての調査、回答要望に対し、下記のとおり、外務省北米局日米地位協定室から連絡会幹事市である福生市に口頭回答がありましたのでお知らせいたします。

なお、市は、今後も引き続き周辺自治体と連携し、国や米軍に対し、周辺住民に不安を与えることのないよう、横田基地の運用に関する情報の提供及び安全確保の徹底を求めてまいります。

記

- 1 回答日 平成19年1月10日(水)
- 2 回答内容

政府としては、米軍の航空機の部品の逐一については承知していない。
なお、米側からは、「航空機はその部品構成を含め、様々な状況下における安全面を十分考慮し、万一事故が起きても、住民の健康に影響が及ばないように製造されている」旨の説明を受けており、米軍の航空機の部品構成に関し、米側に情報開示を求める必要があるような特段の問題があるとは考えていない。

米軍横田基地の返還を求める宣伝・署名行動にご参加を

日時 1月21日(日)午前11時～12時 場所羽村駅東口